



We create chemistry

# The current photo

2026年1月15日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2026 年 1 月 7 日に発表した英語版を BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものでです。



## BASF、中国・湛江フェアブント拠点のスチームクラッカーを稼働開始

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、中国南部の湛江に新設したフェアブント拠点(統合生産拠点)において、スチームクラッカーの試運転を予定通り実施しました。これは、主要コンプレッサー(eDrives)の駆動に 100%再生可能エネルギーを使用する世界初のスチームクラッカーです。

本フェアブント拠点の中心となるスチームクラッカーは、エチレンやプロピレンといった重要な基礎化学品を敷地内の複数の工場に供給しています。これは数多くの化学バ

お問い合わせ:

BASF ジャパン株式会社  
コミュニケーションズ部  
communications-jp@basf.com

BASF ジャパン株式会社

住所: 〒103-0022  
東京都中央区日本橋室町 3-4-4  
OVOL 日本橋ビル 3 階  
<https://www.bASF.com/jp>

リューチェーンの起点であり、蒸気の助けを借りてナフサやブタンなどの長鎖炭化水素を分解します。エチレンの年間生産能力は 100 万トンです。

BASF SE の取締役会メンバーであり、最高技術責任者(CTO)のステファン・コートラーデは、次のように述べています。「湛江のフェアブント拠点は重要な節目を迎えました。BASF の中国における多様なバリューチェーンを大いに強化するものであり、幅広い産業分野のお客様をしっかりとサポートできる体制が整いました。」

また、いくつかのプロピレンのダウンストリームの工場が最近稼働を開始したのに続き、エチレンオキシド、エチレングリコール、およびポリエチレンの工場の操業を、無事開始しました。湛江は、ルートヴィッヒスハーフェンおよびアントワープに次ぐ、BASF にとって世界で 3 番目に大きなフェアブント拠点となり、中国をはじめとするグローバル市場における持続可能な生産の一例となります。例えば、この拠点に供給される電力は 100% 再生可能エネルギー由来のものとなります。また、湛江のフェアブント拠点で生産される製品は、主に世界最大かつ最も急速に成長している化学市場である中国のお客様に供給されます。

※本内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

#### ■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追求しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション & ケア)、スタンドアローン事業の事業セグメント(サーフェステクノロジー、アグロソリューション)から成ります。2024 年の BASF の売上高は 653 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は <https://www.bASF.com/global/en.html> をご覧ください。